

No.17

平成27年5月

# 防府市文化協会だより

防府市文化協会  
(防府市文化財郷土資料館3F)  
TEL/FAX 26-6841



大道文楽同好会（大道人形浄瑠璃保存会）  
による人形浄瑠璃上演

文化・芸術による活力ある地域づくりを

会長 岡田 利雄



防府市文化協会は、協会設立十七周年を迎えました。

この間、ふるさと防府に根ざした文化・芸術活動に強い関心を持たれる多く市民の皆様のご支援のもと、『文化・芸術を通じて市民の文化意識の向上』を図ってまいりました。

さらに、昨年からは、『地域の活性化』、すなわち、『薫り高い文化に富んだまちづくり』に貢献することを意識して、新たな活動を展開しております。本年十月に開催されます「ねんりんピック交流大会」のアトラクションへの協力もその一つであります。

ところで、「第四次防府市総合計画」（平成二十二年策定）の中に、『文化・芸術活動が活発に行われている』と思う市民の割合は三十一％という記録があります。これが、昨年、平成二十六年には、アンケートの結果によると、四十四％に高まっております。（最終年、平成三十二年の目標値は、五十五％）

当文化協会が主催する「市民文化祭」や共催する「市民文芸大会」、各団体が主催する「各種発表会」等は、一見地味な活動に思えますが、上記の結果に大きな貢献をしていると自負しております。

防府市文化協会は、『防府の文化・芸術の向上』と『地域の活性化』を肝に銘じ、たゆまぬ研鑽と努力を続けてまいります。

今後とも、会員の皆様、並びに、市民の皆様の一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

平成二十六年年度

防府市文化協会総会概要

平成二十六年六月二十日（金）十四時から防府市文化福祉会館三階四号にて、第十六回総会が開催された。

開会に先立ち、祝儀舞小唄「寿づる」が、邦楽分野千鶴の会会主花柳扇千鶴様により披露され、その後岡田会長の挨拶があった。

平成二十六年年度文化振興奨励賞（個人四名・団体二団体）と平成二十五年度市民文芸表彰（川柳・俳句・短歌・自由律俳句）の授与式が行われ、松浦市長、岡田会長より表彰状と記念品が贈呈された。市長から祝辞と激励の言葉を頂戴し、続いて事務局より平成二十五年度の事業報告と決算報告、平成二十六年年度の事業計画、予算が報告された。

その後、防府市文化協会創立十六周年記念として、民俗芸能分野より、大道文楽同好会（大道人形浄瑠璃保存会）による外題「壺坂靈験記（沢市内の段）」が上演された。人形浄瑠璃にまじかに触れ、会を盛り上げて頂き無事、閉会しました。

平成二十六年年度

防府市文化振興奨励賞

防府市文化協会表彰者一覧表

（個人の部）

氏名	年齢	部門
上田清子	73歳	民俗芸能
國廣眷爾	91歳	映像
上山喜譽	82歳	歴史
上山忠男	85歳	学術史

（団体の部）

団体名	代表者氏名	部門
萌えぎ会 <small>防府天神輿囃子「梅っ子」</small>	中山歌翠	邦楽（箏）
	鈴木宏明 <small>防府天満宮宮司</small>	民俗芸能

平成二十五年年度

市民文芸表彰者

◎ 川柳の部  
○ 年度賞

迫戸町 佐藤 哲夫  
 酔貝 城尾 公美  
 石ヶ口 高松 康子  
 江泊 村重 栄子  
 沖今宿 岡村 京子

◎ 俳句の部  
○ 年度賞

華城中央 三戸志津江  
 台道 角本 幸子  
 台道 宮崎 三郎  
 奈美 田中 恵子  
 酢貝 阿部 明美

◎ 短歌の部  
○ 市民文芸賞

台道 重田 二枝  
 ○ 年度賞  
 鈴屋 山本 緑  
 新田 田中 義規  
 真尾 山田 公子  
 栄町 林 夕キ子

◎ 自由律俳句  
○ 市民文芸賞

桑山 有 冬扇  
 ○ 年度賞  
 桑南 西岡 悦子  
 伊佐江 米田 多牙  
 田島 藤井 総子  
 勝間 國澤 知世

市民文化活動

支援事業部会報告

平成二十六年年度

- 第一回支援事業部会  
五月二十九日（木）
- ・平成二十五年事業経過報告
- ・同収支決算報告 監査報告
- ・平成二十六年事業計画
- ・平成二十六年年度予算案

○ 支援事業部会会員

- ・ 加入社・個人 計三十口

○ 第一回支援事業部会・審査会

- ・ 五月二十九日（木）
- ・ 助成金決定 一事業

（三万円）

〈助成対象事業〉

- ・ 大道文楽人形浄瑠璃保存会による人形浄瑠璃公演

○ 第二回審査会

- ・ 十二月十一日（木）
- ・ 助成金決定 一事業

助成金合計五万円

〈助成対象事業〉

- ・ 中関小唄CD作成事業
- 平成26年度助成金合計八万円

## 初めての自由律俳句の会

「はじめての自由律俳句もぎ」と歩む日々

会長 門田美和子

遠い昔、中学生になって新しい友ができた。学校のすぐ近くに彼女の家があり、その家の近くにこんもりと木々が茂っている小さな公園があり、何をしてもなくそこでいろんな話をしていたように思う。その公園の一隅の大きな岩に、「雨ふるふるさとははだしであるく」の句が刻まれていたが、山頭火の句だとは知る由もなかった。

社会人になって、作者を知ったが、その句の良さよりも「酒飲みの・放浪の」という冠に父親を重ねて距離をおいていた。

故田中睦子さんとの出会いで、彼の句の奥深くにある心を知り、一歩でもその心に近づきたい、そして、彼の句の奥深くにある心を知り、一歩でもその心に近づきたい、そして自由律俳句が広がっていったらと願って、講座を始めてはや六年目を迎えようとしている。

最近小学校や中学校からお声がけいただき、楽しいひと時を過ごしている。

一、情におぼれるな

二、言いすぎは言い足りないよりもよくない

三、道として行として句作をせよ

四、添えるより捨てるべし

五、ぐっと掴んでぱっと投

げる

これは、山頭火の句作りへの教えである。

苦しみもがきながら、これからも仲間と一緒に励んでいきたい。



## 防府市美術連盟

防府市美展に期待を

会長 岡田 博幸

昨年十二月に、第六十四回防府市美術展を開催しました。六十四回も途絶える事なく開催されていることは、本当に素晴らしいことです。各部門の作品の向上は、最近、特に著しく感じられるようになりました。

六十四回展では、応募点数、入選点数共に大きな増加はありませんでしたが、高校生や専門校生の応募もあり、初めての応募者もかなりあったので、今後が期待出来ると思っています。この会期中は天候も悪く、入場者数が減少するのではと思いましたが、幸いにもたくさんの方が訪れ、鑑賞されました。まずは盛会だったと思います。

今年十二月の市美展は、六十五回目になります。この記念すべき節目の展覧会は、記念特別賞を設けるなど、多くの企画を考えています。また早めに各方面に、ポスターの掲示や呼びかけ、勧誘など行い、出品者が一人でも増えるよう努めるつもりです。

市美展が市内で唯一総合的な美術の祭典であることを、広く知ってもらおうと同時、いろいろな形で協力、参加していただけるよう努力していきます。



## 防府市音楽連盟

防府の音楽発展と共に

代表 石川 功

「防府音楽連盟」は、昭和四十二年（一九六七年）一月「防府アマチュアバンド連盟」として発足し、昭和四十八年（一九七三年）から現在の名称に改称し、本年の秋には創立四十八周年を迎えようとしている山口県内でも老舗の市民アマチュアバンドです。

現在、実際に演奏活動している加盟バンドは、主として小編成のコンボバンドである「防府シティバンド」（現：「H. C. B カウントエース」のみ）となりましたが、連盟発足当初からのテーマ、「音楽を自分たち自身で体験し理解しよう、そして市内の音楽グループの結束を図り、もっと音楽活動を通して地域文化の一助となる。」のもと、市内外の地域文化向上行事の事業計画や企画等、また、フェスタ・アスピラート、天神ピア・サマーコンサート、防府まつり、市民音楽祭など市内外の音楽行事に率先して参加し、音楽活動の輪を拡げております。

今後も、発足当初からのメンバーであり、バンドマスターでもある桑原一朗氏のご指導のもと、日々誕生する多様な音楽ジャンルに適応できるよう、会員が日々研鑽を重ね、市内の音楽グループの先駆者となって、地域文化の一助になるよう努めてまいります。



都山流尺八楽範山会の歩みと近況

会長 小林 範山

昭和四十五年の暮れ、当時高校生であった私は、都山流大師範の故末永萬山先生に『私は尺八を教えているが、あなたの唇は尺八を吹くのに適しているが尺八をやってみなにかね』と誘われたことが私の尺八人生の始まりです。後から考えると多分唇の形はどうでもよく、若い門人の勧誘であったと考えています。翌年の正月に入門し、それからは師匠の素晴らしい音色によるご指導をいただき尺八の魅力に取りつかれてしまいました。その後、演奏技術向上のため当時に一度、京都・大阪・東京にて実施されていた『都山流尺八本曲コンクール全国大会』の挑戦や箏・三絃との合奏練習では地元絃方諸先生方のご指導をいただきながら四十五年間経過し現在に至っています。この間の多くの流派を超えた諸先生方との出会いが今の範山会の存在だと心から感謝しています。

昭和四十八年ころから都山流師匠として教授を開始し昭和五十二年二月の師範免状取得後範山会を創設し本格的な活動を始めました。小学四年生から七十歳代後半の方まで多くの師弟関係が生まれましたが、転勤などもあり会員の定着は難しいのが現状です。現在の範山会員は二十歳代一名・三十歳代三名・四十歳代二名・六十歳代五名・七十歳代一名の計十二名で運営しています。会を代表するものとして比較的若いメンバーが多く今後の活躍が非常に楽しみです。

主な参加行事は、防府市民文化祭『邦楽の会』出演がメインで他には山口県邦楽大会の出演や会員々が所属するグループでの演奏会出演で、毎年八月五日開催の防府天満宮芳松庵における誕辰祭コンサートや一昨年から周防国分寺金堂ライトアップ邦楽コンサート(写真掲載)など多くのコンサートに出演しています。

まだまだ未熟なメンバーばかりですが、師匠である故末永萬山先生の教え『正統な都山流尺八の芸を習得しなさい』を肝に銘じて日本伝統文化の継承にむけ精進して参りたいと考えますので今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。



会の交流を大切に

代表 竹尾耶衣子

私達洋舞の会は、各先生方の親睦を深める為忘年会をしました。初めての試みです。先生方は大変お忙しいからなかなか思う様には行きませんが、根づかせて行きたいと思っております。発表の時だけ顔を合せただけではせっかくの出逢いがもつたいたない様な気がします。

人は人と接し成長して行くものだと思いますし異文化の中で世界を広げ、取り入れ魅力を持つて指導者として後見者を育んでいけるよう、少しでも力になればと思っております。

二十六年度の洋舞フェスティバルは、フリーマーケットと同じ日に重なりましたけれども、たくさんの方に見て頂き大変うれしく思っております。会を重ねる度に切磋琢磨してすてきな発表の場となつて来ていることを大変うれしく思っております。今後共皆様方のご声援を頂き楽しく頑張つてまいります。クラシックバレエ、フラダンス、ジャズダンス、フラメンコ、フォークダンス、リズムダンスをよろしくお願いたします。



盛況だったビデオ作品発表会

会長 清澄 邦夫

昨年十月十一日に開催した「第十九回ビデオ作品上映会」は一四〇人を超えるお客様が来場され、会場は熱気にあふれていました。

上映作品は「ちようちよう」 梶山淳子、「映像日記」市川泰毅、「必刻仕事人」 國廣けんじ、「伊佐江八幡宮・穂出祭」藤原繁男、「国分寺の酔芙蓉」米倉弘、「獅子が鼻湿原」清澄邦夫、「梅雨の晴れ間に」河村和子、「オーロラ・イン・アラスカ」西村一、「復興ねがって厄神舞」大野進二の十作品でした。

終了後のアンケートを読ませて頂くと、毎回この上映会を楽しみに来られる方のビデオを見る目が肥えてきて、私たちの作品作りの大きな励みになっています。初めて来られた方は、「防府にこんな見どころがあるのをはじめて知りました」、「素晴らしい作品をありがとう」・・・など、かえって私たちが感動をいただいております。

今年も、十月十八日(日) 十三時三十分から上映を予定しております。会場は、目下検討段階です。決まりましたら、市の広報やチラシなどでお知らせいたします。よろしくお願いたします。

私たちのモットーは「楽しく撮つて、楽しい作品を」です。関心のある方はお気軽に会場へお越しください。

月例会  
毎月第三金曜日 十四時三十分から松崎公民館で入会者大歓迎「とくに初心者」連絡先 清澄邦夫  
電話二四一三八一六  
(周南労務管理センター内)



## 野村望東尼会

### 終焉の地で進める望東尼の顕彰

会長 岡本早智子

野村望東尼は、福岡に生まれ育った幕末の女流歌人で、勤王の志士たちを支えた、志高く慈愛深い幕末の母とも呼ばれる人です。勤王活動が仇となり姫島に流罪になりますが、高杉晋作の救出隊に助け出され、馬関（下関）に着いた時は六十一歳でした。その後、高杉を看取り、榎取素彦等にも助けられて山口から防府へ移り、三田尻の地で、薩長連合の勝利を祈願しつつ歌を詠んで天満宮に奉納したり、桑山から港を眺め連合軍の出港を待ちわびながら、慶応三年十一月六日、六十二歳の生涯を閉じました。

防府野村望東尼会は、望東尼終焉の地として毎年十一月六日に法要を行い、日頃は桑山の墓碑・天満宮の胸像と歌碑の清掃に励み、読書会等で学び合い、望東尼の遺徳を顕彰しています。

今年、来年在没後五十年となる前段階として、望東尼を広く市民のみならず、知っていただくために、「今が旬！幕末学び塾・野村望東尼の生涯を辿ろう」（五月～九月、四回）を最も敬愛する望東尼研究家の谷川佳枝子先生を招いて開催予定です。特に最終回は、九月六日（日）午後、防府天満宮参集殿ホールで「晩年の望東尼～高杉晋作との再会に始まる下関、山口、そして終焉の地防府の日々を辿る～」の公開講演会となります。どうぞお越し下さいませ。



## 防府市華道連盟

### いけばなの現状と課題

代表 中野 倫子

防府市華道連盟は、現在家元池坊、小原流、柴山古流、専心池坊、草月流、二葉流の六流派が所属しています。当連盟は春にはじばさん春まつりに協賛して春のいけばな展、秋には市民文化祭華道展に、六流派協力して実施しています。また国指定史跡英雲荘の玄関と書院の床間に、交替でいけばなの奉仕をしています。

いけばなは日本古来から受けつがれた、伝統ある文化として発展してきました。でも現代私達の生活様式の変化により、床の間のないアパートやマンション、公共の場所や、お店のウインドーと活ける場所自体が変わり、その場にふさわしい作品が求められてきました。活ける作品自体が主役になるものではなく、活かされた空間に色を添え、その空間をより豊かにするものです。私達日本人の心の豊かさ、繊細な美意識と、四季おりおりに咲く花ばなをめでる心を養う文化を大切に、教養を深めていきたいと思います。

この「いけばな」という文化を受け継いでくれる次の世代を育てていきたいと、子供教室を開いて奮闘しているところであります。いけばなの世界も高齢化と人材不足で危機感を感じています。

この伝統ある文化を若い人達にも、魅力ある趣味の世界として提供できたらと願っています。



## 防府民俗芸能連盟

### 連携と保存継承

事務局長 藤井 清

本連盟は、市内の民俗芸能を保存している団体（廿二十六・四月現在・二十六団体）で組織されており、団体相互の連携、お互いの保持する民俗芸能の研鑽、継者の育成を図るとともに民俗芸能に対する認識を深め地方文化の高揚に努める活動を行っています。

具体的な活動内容は、文化協会の大きなご支援により、五年ごとに、「防府民俗芸能祭り」を文化協会総会時に開催しています。

それ以外の年には、文化協会総会後のアトラクションとして、加盟団体から一団体ずつ公演させて頂いております。ちなみに、二十六年度には、「大道文楽同好会」の皆様による「人形浄瑠璃」の公演を行いました。今年も加盟団体からの推薦により、一団体の公演を予定しております。

こうして、市民の皆様の前でご披露出来ますことを喜んでおり、今後とも目的達成に必要な事業を行なうて参りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



## 防府市老人クラブ連合会

生涯現役を願って

会長 岡本 利行

少子高齢化社会となり、防府市でも高齢者の割合が二十七%を超えています。高齢者に望まれていることは、身心ともに健康で周りの人と交わり、住み慣れた地域で楽しく過ごすとともに、長年蓄えてきた生活の知恵や技能を生かして地域づくりに貢献する生きがいをもつことです。

各地区老人クラブ連合会では、ウォーキング、グラウンドゴルフ、ペタンクなどが行なわれており、市連でもペタンク大会や「いきいきシニアふれあいスポーツ大会」など健康づくりの活動を行っています。

文化活動としては、俳句大会、紙上川柳大会、文化財探訪を行っています。俳句大会は伊藤仙女先生のご指導で今年は十一月に第十二回大会、川柳は御園生百合子先生のご指導で第九回大会を開催します。

今年、第二十八回全国健康福祉祭やまぐち大会（ねんりんピック）が開催されます。生涯現役でピンピンコロリを願って一日一日を大事に生きて参りたいと思っています。



文化財探訪長府毛利邸

## 防府市中学校文化連盟

まちづくりの一助に

防府市中学校文化連盟会長 西村 直記

防府市中学校文化連盟は市内の中学校における文化活動の振興・発展を図る目的で平成十七年から活動しています。この年に山口県中学校文化連盟も設立され、第一回県総合文化祭をこ防府市で開催しました。その後、防府市単独で総合文化祭展示の部を毎年開催しています。

市内各中学校の文化部の作品や美術、国語、技術・家庭などの授業で制作した作品の展示を中心に、科学実験の実演等も行っています。最終日の午後には、市内中学校の文化部員が科学、家庭、美術の三分野に分かれ、交流会を開いています。例年一月の第三土日にアスピラート展示ホールをメイン会場に開催していますので、是非ご来場ください。

平成二十五年度からは、この会場に「夢のまち」の模型を展示しています。これは「デザインスクールキャラバン防府」で市内の美術部員がまちづくりの夢やアイデアを形にしたものです。防府商工会議所の共催を受け、山口大学の学生を中心としたスタッフで、八月に天神ピアを会場に開催しています。いつの日かここで学んだ中学生がスタッフとして帰ってくることを夢見ながら、それが薫り高い文化に富んだまちづくりの一助になればと考えられています。

※添付の写真は「デザインスクールキャラバン防府」からです。



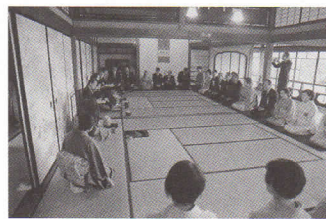
## 茶道裏千家淡交会

第四十八回中国地区大会

幹事長 高橋 宗信

平成二十六年十一月八日、九日の両日、裏千家第十六代坐忘齋家元ご夫婦、宗家ご一統様はじめ中国地区（岡山、広島、山口の三県）内外千七百余名のお客様、会員参集のもと、標記大会を防府市公会堂、毛利邸、防府天満宮、英雲荘、アスピラート等々の会場で式典、茶会を開催させていただきました。

これは毛利家当主毛利元敬様の「皆様を毛利邸にお迎えしてお茶を差し上げたい」との長年の思いと、松浦防府市長はじめ防府市関係者のご理解ご協力を頂き実現致しました。近年の茶会、殊に大人数の場合ホテルや大ホールで催されることが多いのですが、今回毛利邸、天満宮、英雲荘での茶会は参会の皆様に大変喜んでいただけたように思います。東京や京阪神、他県からみえた方々も『あのような由緒ある御殿や邸宅でお茶をいただけて感激した』と異口同音におっしゃっていただきました。奈良、平安のころより国府のあった文化都市防府を多くの方々知っていただけたと自負しております。茶道に係わる者として日本文化、国宝、重文等を多く抱える文化都市防府市の良さを再認識させていただき、自画自賛ではありますが、あらためて茶道の良さを教えていただいた大会であったと感謝致しております。



平成26年度  
団体会員

防府市美術連盟

〈音楽〉 17団体

- 。初めて自由律俳句の会みぎ
- 。防府市民文芸自由律俳句の会
- 。文化サークル爛銀
- 。防府市民短歌会
- 。防府詩の会
- 。防府市俳句協会
- 。山頭火ふるさと会
- 。防府市市民川柳会

〈美術〉 26団体

- 。遊の会
- 。ほうふ水彩画倶楽部
- 。さくらの会
- 。たんぽぽの会
- 。絵手紙同好会
- 。絵手紙線の会
- 。書友会
- 。書研・風信会
- 。絵画サークル楽画会
- 。鎌倉彫同好会
- 。すずらん会
- 。レザークラフトひまわり
- 。フォトレンズ写真
- 。花桜の会
- 。彫美会
- 。書の学習会
- 。中関公民館鎌倉彫・木彫サークル
- 。スケッチサークル十色会
- 。楽の会
- 。大溝書道会
- 。むつみ会
- 。防府市書道連盟
- 。面龍会
- 。勝坂手づくり会
- 。彫歩会

〈邦楽〉 33団体

- 。岳誠会師範会
- 。防長民謡会
- 。箏曲「雅会」
- 。岳誠流日本吟道防府
- 。岳誠会
- 。鴻峯吟詠防府朗吟会
- 。日本舞踊花扇の会
- 。都々美会
- 。ユネスコ詩吟教室
- 。上田流尺八道菅友会
- 。上田流尺八道防府幹部会
- 。都山流尺八楽範山会
- 。都山流山口県支部松山会
- 。稀音家六知せ会
- 。防府詩吟連合会
- 。日本吟舞曾光流曾光会
- 。鷺朋吟詠会防府絵支部

〈洋舞〉 21団体

- 。イブミン会
- 。ムーメント会（社交ダンス）
- 。勝間社交ダンス同好会
- 。ヤエコ&リズムダンス
- 。龍華の会
- 。牟礼フォークダンス同好会
- 。治療体操自彊術
- 。ルルベ
- 。太極拳翠楊会
- 。ホームヨーガ
- 。ウォーキング・ヨガ
- 。健康ヨーガ倶楽部
- 。大道リズムダンスクラブ
- 。防府ミュージカルキッズ
- 。フォークダンス研究会
- 。イクエ フラ PDC
- 。谷淑江 スペイン舞踊スタジオ
- 。Izumi Ballet Studio
- 。カパーケーカワイオクワプアレファ

〈映画〉 1団体

- 。防府映像サークル

〈歴史〉 3団体

- 。防府野村望東尼会
- 。防府松陰研究会
- 。防府史談会

〈生活文化〉 32団体

- 。山口市・防府市いけばな連合会
- 。華道一葉流山口県支部
- 。萌の会
- 。オレンジ
- 。専心小笠原流煎茶
- 。防府市茶道連盟
- 。専心池坊山口県中部支部
- 。草月流新光会
- 。柴山古流清風会
- 。表流防和会
- 。さくらんぼ
- 。衣服のリフォーム
- 。洋裁
- 。華道家元池坊防府支部
- 。茶道裏千家淡交会
- 。山口支部
- 。（財）小原流防府支部
- 。茶和会
- 。お菓子サークル
- 。Voiceプロジェクト
- 。表千家山口県青年部
- 。防府地区
- 。花供養あじさい会
- 。日本礼道小笠原流煎茶
- 。若葉会
- 。防府市華道連盟
- 。小原流華城地区伝統文化いけ花親子教室

〈民俗芸能〉 6団体

- 。中関塩浜唄の会
- 。国府の節保存会
- 。防府民俗芸能連盟
- 。古典芸能南京玉すだれ山口保存会
- 。笑い講
- 。大道文楽保存会（大道文楽）

〈福祉〉 7団体

- 。新田地区社会福祉協議会
- 。勝間地区社会福祉協議会
- 。防府中央ライオンズクラブ
- 。防府ゴールドデンライオンズクラブ
- 。防府ライオンズクラブ
- 。松崎地区社会福祉協議会
- 。華浦地区社会福祉協議会

〈学術〉 7団体

- 。日本郵趣協会防府支部
- 。山口県退職公務員連盟防府支部
- 。防府地区
- 。ホーリー会
- 。牟礼校区子ども会
- 。防府市老人クラブ連合会
- 。防府天満宮

合計161団体

平成26年度  
個人会員

邦楽舞踊

若柳 吉冬貴

若柳 貴吉香

松根 君枝

上野 紀美子

若柳 冬貴菜

田中 智嘉

村山 幸子

若柳 貴吉華

花柳 扇千鶴

洋舞

谷 淑江

市民文芸

門田 美和子

羽仁 和子

新山王 哲

河野 勝義

岡村 京子

森坂 達夫

久保 敬

松本 義春

美術

中村 凌太

文化協会

岡田 利雄

坪郷 久栄

窪田 耕二

竹尾 耶衣子

吉川 知至

合計24人

平成26年度  
市民文化活動支援  
事業部会会員

防府市長

山口県議会議員

防府商工会議所会頭

鯉石歯科医院

防長文具株式会社

山口紙業株式会社

土井工務店

誠英高等学校

東山口信用金庫

三田尻化学工業(株)

(株) 羽嶋松翠園

大村印刷株式会社

(医) 杉桑会杉山内科小児科医院

澤田建設株式会社

成長建設株式会社

(株) ローターコーポレーション

(株) カキダ徳山支店

中村技建(株)

(株) 原工務店

山根勇事務所

防府天満宮

(株) 馬場回漕店

(医) 社団大西眼科

日本通運株防府支店

山陽建設工業(株)

防府青年会議所

深川内科循環器科

支援事業部会長 舟橋薫

支援事業部副会長

防府市文化協会会長

深田 慎治

西本 正彦

岡田 利雄

合計30

平成二十七年事業計画

- 六月十九日(金) 文化協会 総会
- 七月十八日(土) 市民自由律俳句大会
- 九月六日(日) 市民俳句大会
- 十月四日(日) 市民短歌大会
- 十月十日(土) 市民文化祭 盆栽展
- 十月十七日(土) 市民文化祭 盆裁展
- 十月十八日(日) 洋舞フェスティバル
- 十月十八日(日) 市民川柳大会
- 十月十八日(日) 市民文化祭 ビデオ作品上映会
- 十月二十五日(日) 市民文化祭 市民音楽祭
- 十一月一日(日) 市民文化祭 邦楽の会
- 十一月六日(金) 市民文化祭 華道展 健康相談 お茶席
- 十二月二日(水) 市民文化祭
- 第六十五回市美展

平成27年度 防府市文化協会役員

○=常任理事

役職	氏名	選出母体
顧問		
会長	岡田 利雄	個人会員
副会長	中尾 岳奨	防府邦楽舞踊連盟
〃	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟
監事	坪郷 久栄	個人会員
〃	清澄 邦夫	防府映像サークル
理事	氏名	選出母体
○	藤井 繁美	防府市俳句協会
	富永 鳩山	防府市書道連盟
○	岡田 博幸	防府市美術連盟
	鱒石 洋己	フォトフレンズ写意
○	田中 和実	大村能章顕彰会
	石川 功	防府音楽連盟
	小林 範山	都山流尺八範山会
	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	山野歌奈女	和歌奈会
○	竹尾耶衣子	ヤエコ&リズムダンス

理事	氏名	選出母体
	徳本喜美恵	ルルベ
○	岡本早智子	防府野村望東尼会
○	中野 倫子	草月流新光会
	松下 里美	防府市茶道連盟
	荒瀬 玲子	オレンジ
○	新山王 哲	個人会員
○	吉川 知至	山口県退職公務員連盟防府支部
○	窪田 耕二	個人会員
○	深田 慎治	深田薬局
	鈴木 宏明	防府天満宮
	久保田雅久	防府青年会議所
	河村 俊之	小学校長会
○	藤井 剛正	中学校長会
○	藤井 隆	総合政策部文化・スポーツ課長
	湯面 栄二	(公財)防府市文化振興財団地域交流センター館長

事務局 岡崎久美子

文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》

- 団体会員(第一号会員) 三千円
- 個人会員(第二号会員) 千五百円

《会員の特典》

- \*個人会員
  - ①年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
- \*団体会員
  - ①加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援
  - ②文化福祉会館・公民館の施設(文化福祉会館大会議室を除く)月一回一区分無料利用

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》

「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《問合せ》

防府市文化協会事務局 (防府市文化財) 郷土資料館三階 (TEL/FAX:二二六一六八四一)

編集

- 委員長 中尾 岳奨
- 委員 窪田 耕二
- 〃 岡本早智子
- 〃 竹尾耶衣子

発行

防府市桑山二丁目一 防府市文化財郷土資料館 三階

防府市文化協会 TEL/FAX〇八三五

(二二六)六八四一

平成二十七年五月

編集後記

委員長 中尾 岳奨

文化協会傘下百六十一団体、各部会より代表で会の現況及び活動の状況等について「協会だより」への投稿をお願い致しましたところ、ご快諾くださり、全て期間内に原稿を寄せていただき、編集作業は順調に進捗し、ここに予定どおり刊行の運びとなり皆様に感謝致し居る次第であります。

本誌は年一回の発行ですが、どうか会員の皆様方も本誌を利用し、会の宣伝もしくはその内容等をご投稿くださり仲間づくり、延いては会の発展に役立てていただきたくよろしくお願い致します。

最後に、編集委員各位の労を多として編集後記と致します。

